

+.....+
【ケアプロ通信vol.87】
1月度ニュース:在宅医療事業部の新ミッションが決まりました！
+.....+

いつも大変お世話になっております。

今年は、東京2020、オリンピック、パラリンピックが開催されます。

今月から、オリンピック・パラリンピックのシンボルの設置やセレモニーがあり、
3月には福島県から日本全国47都道府県を回るオリンピック聖火リレーが開始されます。

1964年(昭和39年)の東京オリンピックでは、
日本のインフラ(新幹線、モノレール等)が整備され、家庭へのテレビの普及が進み、
敗戦後、日本が先進国として復活したと証明されるひとつとなったそうです。

[東京2020のビジョン](#)は
「スポーツには世界と未来を変える力がある」です。
1964年の東京大会は東京を大きく変えました。
2020年の東京大会では、東京が、日本が、どのように変化していくのか
とても楽しみです。

それでは、1月度のニュースをお届けいたします。

+.....INDEX.....+

- 【1】代表 川添高志
「2020年新年のご挨拶」
- 【2】 予防医療事業部
 - 1)新しいスタッフが増えました！
 - 2)スーパーでの継続した健康支援の取り組み
- 【3】 在宅医療事業部
 - 1)新ミッションが決まりました！
 - 2)事業計画発表会を行いました！
- 【4】 交通医療事業部
 - 1)医療的ケア児の”はじめてのお使い”
 - 2)新メンバーの紹介”医療的ケア児を育て、看取った経験から”

+.....+

+……………代表 川添 高志からのメッセージ……………+

「2020年新年のご挨拶」

あけましておめでとうございます。ケアプロ代表の川添高志です。
本年も、宜しくお願い致します。

お陰様で2007年に創業して13年目となりました。

昨年2019年は、予防医療事業部は47都道府県で展開できるステージになり、
在宅医療事業部は訪問看護ステーションの所長に加えてチームリーダーが
組織拡大を支える節目となり、管理部門は体制強化され、全社で無借金になり、
交通医療事業部という新規事業に挑戦できるようになりました。

昨年末の12周年パーティーの報告内容は[リンク](#)をご覧ください。

さて、これまで、様々な経営課題はありましたが、ヘルスケア分野の課題は大きく、
ますます、やりがいをもって取り組める時代になってきました。

ケアプロメンバーや関係者の皆さんとは常に熱い議論ができ、
恐ろしいと思う山であっても挑戦したい、乗り越えられる、と思えることは
幸せなことだと思います。

皆様にとっても本年が素晴らしい年になることを祈念しています。



ケアプロ株式会社 〒164-0011 東京都中野区中央3-13-10 JOY HAYASHI 3F TEL:03-5389-1212/FAX:03-5389-1230

+……………予防医療事業部長 大関 夏子 からのメッセージ……………+

1)新しいスタッフが増えました！

12月より新しいスタッフが増え、営業課の中心メンバーとして参画しております。
前職の営業経験を活かし、既存のメンバーと共に
クライアントの皆様の課題解決や社会課題の解決に向けて取り組みます。

2)スーパーでの継続した健康支援の取り組み

健康づくりにおいて、食事は非常に重要ですが、
たくさんの商品から、消費者が自分に合った商品を選択し、
健康に繋げていくことはなかなか難しいと思います。

そのため、健康が大事だと気づきつつ、具体的な行動に移すまでには大きな壁があります。

その課題を解決するために、
弊社ではスーパー、食品・飲料メーカー、食品卸と共に、
その人に合った食品の選択ができるような取り組みをイベントとして行ってまいりました。

▼導入事例

食の窓口構想～三菱食品様と～

<https://carepro.co.jp/preventive/corporation/archives/6121/>

食品メーカー×小売～食品メーカー15社と共に～

<https://carepro.co.jp/preventive/corporation/archives/5678/>

1月からは、その取り組みを継続的なものとして、
弊社が「食の窓口」となり、スーパー周辺の地域の皆様の健康づくりに貢献するため、
「糖質」「タンパク質」「減塩」などテーマを設けて
定期的な健康支援をする取り組みを始めました。

今後、検査の提供だけではなく様々な企画をしながら、
地域の皆様の健康づくりに貢献してまいります。



+…………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ…………+

1)新ミッションが決まりました！

在宅医療事業部のミッションが変わりました。

新ミッションは、

**在宅医療の課題を解決し、
“私らしくいきる”を支える社会を創造する。**
です。

在宅医療事業部では「2020年看取り難民30万人を救う」を
ミッションに取り組んできましたが、2020年の到来、
看取りだけでなく様々なニーズの存在などあり、
2020年を迎える今期より、ミッションを刷新しました。

「私らしくいきる」とは、人生のその一瞬一瞬の「生き方」、
「逝き方」を自分で選択できることだと考えています。

そして利用者だけでなく、その家族、それを支えるスタッフ、
みんなが「私」であり、みんなが「私らしく」人生を選択できる、
そんな社会に貢献する組織を創っていきたいと思っています。

2)事業計画発表会を行いました！

昨年より、事業部での事業計画の発表会を行なっています。

在宅医療事業部は現在8年目。古参メンバー、中途参入メンバー、
新人メンバー、それぞれが歴史を知り、その中での変化を知り、
成長を実感し、これからについて考える、とても重要な時間です。

実際の会ではたくさんの質疑応答があり、
それぞれのスタッフが受け身ではなく、
自分ごととして組織の事を考えてくれている
ということが感じられる会になりました。

新ミッションを携え、成長し続けられる組織を創っていきます！



+……………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ……………+

1) 医療的ケア児の”はじめてのお使い”

現在、病や障がいがあっても安心して外出できる世の中を目指して、移動支援の予約プラットフォーム「ドコケア」を開発しています。

<https://dococare.com/>

ドコケアのトライアルで、医療的ケアが必要なお子さんが、看護師とバギーで近所をお散歩して焼き鳥屋に向かいました。

「つくね2本！」

自分で元気に注文して無事にお使いをしました。
お母様も大変喜ばれました。



2) 新メンバーの紹介 ”医療的ケア児を育て、看取った経験から”

新メンバーとして、レジャーサービス業界出身で、医療的ケア児を育て、看取った経験を持つ仲間が参画しました。

自身の経験から介護福祉士の資格も持ち、現場経験を積むためにダブルワークをしながら勤務しています。

ユーザー目線をもって事業開発と事業展開をしていきます。